

都城工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	建築実務概論
科目基礎情報						
科目番号	0076		科目区分		専門 / 必修	
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 1	
開設学科	建築学科		対象学年		5	
開設期	前期		週時間数		2	
教科書/教材	特に使用しない					
担当教員	中村 裕文,宇都 博徳,柴 睦巳,瀬川 洋一郎,蒲牟田 健作,亀田 明彦,橋口 芳弘					
到達目標						
1) 各講師が主張する建築についての考え方や、実務への取り組みを理解し、概説できること。 2) 各講師の主張に対し、自分なりの意見を主張できること。 3) 講師によっては、授業中に独自の課題が与えられるが、その課題を実施すること。 なお、達成目標は、各講師ごとに達成されること。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	講師が主張する建築についての考え方や実務の取り組みについて概説し、その内容に関し受講者の明確な考え方を踏まえて論評できること。		講師が主張する建築についての考え方や実務の取り組みについて概説し、その内容について論評できること。		講師が主張する建築についての考え方や実務の取り組みについて概説できる。	
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	4人の講師（柴睦巳・橋口芳弘・亀田明彦・中村裕文）による講義を通じて建築デザインや施工等の実務や,実践的方法論を学ぶ。					
授業の進め方・方法	非常勤講師により、独自の授業が実施される。各時間の授業内容に関し整理し、ノートを作成すること。各講師による講義終了後に、レポートを作成する。					
注意点	特になし。					
ポートフォリオ						
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	古民家再生プロジェクト		古民家を再生して農家民宿にするワークショップの事例をビデオ教材で学習する	
		3週	UR都市機構の団地100		UR都市機構の集合住宅に関する資料を読んで、日本の集合住宅の歴史について学習する。	
		4週	妹島和世「環境と建築」		建築家瀬島和代の講演のビデオを見て、瀬島和代のとらえる環境と建築の関係について考える。	
		5週	「建築家 槇文彦の3回連続講座」の視聴		建築家 槇文彦の建築の講演をビデオで見て、槇文彦の建築に対する考え方を知る。	
		6週	「建築家 槇文彦の3回連続講座」の視聴		建築家 槇文彦の建築の講演をビデオで見て、槇文彦の建築に対する考え方を知る。	
		7週	地域に根ざした建築設計のあり方（講師：・柴睦巳）		宮崎県北の村、旧南郷村（現美郷町南郷区）で行われた「百済の里づくり」の、ソフト、ハードの両面から、その始まり、過程、そして現在の姿について紹介する。また現在、講義担当者が取組んでいる諸塚村の山と関わった「産直住宅」について紹介する。	
		8週	地域に根ざした建築設計のあり方（講師：・柴睦巳）		宮崎県北の村、旧南郷村（現美郷町南郷区）で行われた「百済の里づくり」の、ソフト、ハードの両面から、その始まり、過程、そして現在の姿について紹介する。また現在、講義担当者が取組んでいる諸塚村の山と関わった「産直住宅」について紹介する。	
	2ndQ	9週	地域に根ざした建築設計のあり方（講師：・柴睦巳）		宮崎県北の村、旧南郷村（現美郷町南郷区）で行われた「百済の里づくり」の、ソフト、ハードの両面から、その始まり、過程、そして現在の姿について紹介する。また現在、講義担当者が取組んでいる諸塚村の山と関わった「産直住宅」について紹介する。	
		10週	木造建築の設計施工（講師：橋口芳弘）		杉材の利用技術について概説する。講義は、人工林スギの材料特性、工学的な木材利用の歴史、スギを活用するための性能仕様書づくり等を紹介し、スギの特徴を活かした「木の花ドーム」などの事例を交えて木造の設計・製作・施工・維持管理の建築実務を解説する。また、C L T 建材・建築の最新情報を説く。	
		11週	木造建築の設計施工（講師：橋口芳弘）		杉材の利用技術について概説する。講義は、人工林スギの材料特性、工学的な木材利用の歴史、スギを活用するための性能仕様書づくり等を紹介し、スギの特徴を活かした「木の花ドーム」などの事例を交えて木造の設計・製作・施工・維持管理の建築実務を解説する。また、C L T 建材・建築の最新情報を説く。	
		12週	木造建築の設計施工（講師：橋口芳弘）		杉材の利用技術について概説する。講義は、人工林スギの材料特性、工学的な木材利用の歴史、スギを活用するための性能仕様書づくり等を紹介し、スギの特徴を活かした「木の花ドーム」などの事例を交えて木造の設計・製作・施工・維持管理の建築実務を解説する。また、C L T 建材・建築の最新情報を説く。	

		13週	建設工事の現場管理の現状と実務経験からのアドバイス（講師：亀田明彦）	講師が経験してきた施工現場を参考にしながら、建物を創る事は「大変だ！」でも「面白い！」と言う事を、具体的に紹介する。さらに、建設業の現状を踏まえて、建物を造るのに必要な事を講義する。
		14週	建設工事の現場管理の現状と実務経験からのアドバイス（講師：亀田明彦）	講師が経験してきた施工現場を参考にしながら、建物を創る事は「大変だ！」でも「面白い！」と言う事を、具体的に紹介する。さらに、建設業の現状を踏まえて、建物を造るのに必要な事を講義する。
		15週	まとめ	各講師のレポート評価について、考察する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	材料	木材の種類について説明できる。	4	
				傷(節など)について説明できる。	4	
				耐久性(例えば腐れ、枯渇、虫害など)について説明できる。	4	
				耐火性について説明できる。	4	
				近年の木材工業製品(集成材、積層材など)の種類について説明できる。	4	
				木材の成長と組織形成から、物理的性質の違いについて説明できる。	4	
				下地材の種類(例えば繊維板、パーティクルボード、石こうボードなど)をあげることができる。	4	
				内装材料(壁・天井)として(モルタル、しっくい、クロス、珪藻土、合板、ボードなど)をあげることができる。	4	
			構造	木構造の特徴・構造形式について説明できる。	4	
				木材の接合について説明できる。	4	
				基礎、軸組み、小屋組み、床組み、階段、開口部などの木造建築の構法を説明できる。	4	
			環境・設備	風土と建築について説明できる。	4	
			施工・法規	現場組織の編成について説明できる。	4	
				設計図書と施工図の関係について説明できる。	4	
				5大管理項目(品質、原価、工程、安全、環境)の特徴について説明できる。	4	
			設計・製図	建築の構成要素(形と空間の構成)について説明できる。	4	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	100	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	30	30
専門的能力	0	0	0	0	0	30	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	40	40